

コッシンルア剤 ボクトウコンーH	取扱メーカー： 信越化学 原体メーカー： 信越化学
成分： (E)-3- テトラデセニル＝アセタート……………74.1%	性状： 淡黄色澄明油状液体（ポリエチレン細管に封入） 毒性： 普通物 消防法： 第4類・第3石油類（非水溶性）・危険等級III

【品目特性】 ……………

- 性フェロモンの特異的作用によって対象害虫の交尾を連続的に阻害し，害虫の発生を抑制する。
- 感受性が低下した害虫にも有効。
- 天敵に対する影響は非常に少なく，人畜毒性もほとんどない。
- 有効成分は微生物等により容易に分解されるため，環境にやさしい。
- ディスペンサーがツインタイプのため，枝などに簡単に巻き付けられる。
- 殺虫剤の散布回数の削減が期待できる。
- 作物への残留も心配なく，作業者に対しても安全。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】 ……………

- 設置時期：成虫が発生する前に設置する。
- 処理量と処理位置：10 a 当り 100 本～150 本を設置。目通りの高さになるべく圃場全体に均等になるように取り付ける。

- 取付け方法：細い枝では輪にして輪の中に枝を通すか，少し太い枝ではそのまま巻き付けてから，一端を輪の中にくぐらせて固定する。
- 処理期間：ヒメボクトウの幼虫は数年かけて成虫になる。少なくとも3年以上連続して使用する。

【薬効・薬害等の注意】 ……………

- ヒメボクトウが高密度の場合，状況に応じて天敵に影響の少ない殺虫剤を併用する。
- フェロモン剤の濃度維持が困難と考えられる急傾斜地や風の強い地域での使用はできるだけさける。
- 外装のアルミ箔袋を開封したまま放置すると有効成分が揮散する。使用直前まで開封せず，開封後はなるべく使いきる。やむを得ず残った場合は，密封し5℃以下で冷蔵保存する。
- 皮膚に対して刺激性があるので，使用の際は手袋，長ズボン，長袖の作業衣などを着用して皮膚に付着しないように注意する。
- 共通注意事項8，適用作物群に関する注意事項を参照。

【適用と使用法】 ……………

作物名	使用目的	適用害虫名	10 a 当り 使用量	使用時期	使用方法
果樹類	交尾阻害	ヒメボクトウ	100～150 本 (16 g /100 本製剤)	成虫の発生 初期から終期	ディスペンサーを対象作物の枝に挟み込み，又は巻き付け設置する